

大学番号：国039

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

福井大学大学院 工学研究科 総合創成工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合戦略部門経営戦略課

職名・氏名 キカクカカリチョウ 企画係長 ・ サカイ 坂井 ヨシミ 佳美

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail sskikaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学研究科

<総合創成工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	15
7. その他全般的事項	16

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学

(3) 大学の位置

〒910-8507
福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 ※事前伺いにつき、記載致しません。

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 総合創成工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	22人	66人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 22 (-) [-]	人	人 22 (-) [-]	人	人 22 (-) [-]	人	人		1.30倍	1.30倍	平成27年度秋 季入学の予定 あり
志願者数	29 (17) [1]	2 (1) [1]	26 (13) [4]	3 (1) [1]	29 (16) [3]						
受験者数	28 (17) [1]	2 (1) [1]	25 (13) [4]	3 (1) [1]	29 (16) [3]						
合格者数	28 (17) [1]	2 (1) [1]	25 (13) [4]	3 (1) [1]	29 (16) [3]						
B 入学者数	28 (17) [1]	2 (1) [1]	25 (13) [4]	3 (1) [1]	28 (16) [2]						
入学定員超過率 B/A	1.36		1.27		1.27						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様に行ってください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 28	[1] (-) 2	[4] (-) 25	[1] (-) 3	[2] 28	[] 	
2年次	/		[1] (-) 26	[1] (-) 2	[4] (-) 24	[1] (-) 3	
3年次	/		/		[1] (-) 26	[1] (-) 2	
計	[2] (-) 30		[7] (-) 56		[9] (-) 83		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	30人	2人	平成25年度	2人	0人	疾病のため(1名) 授業料未納による除籍(1名)	6.7%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	28人	1人	平成26年度	1人	0人	就職のため(1名)	3.6%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	28人	0人	平成27年度	0人	0人		0
合計	86人	3人					3.5%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学研究科 総合創成工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実践科目	長期インターンシップ	1・2・3		4		1					
	知的財産—特許コース特論—	1・2・3前		2							兼1
	企業戦略概論	1・2・3前		2							兼1
	リーダーシップ論	1・2・3前		2							兼1
	国際化戦略とオープンイノベーション	1・2・3後		2							兼1
	技術開発のロードマップ	1・2・3後		2							兼1
	On the Tutorial Training	1・2・3		2							兼1
	産学連携実践インターンシップ	1・2・3		4							兼1
	プロジェクトインキュベーション経験プログラム	1・2・3		2							兼1
	On the Consultation Training	1・2・3前		2							兼1
	海外特別講義・演習	1・2・3前		1		1	1				兼1
	海外研究プレゼンテーション・討論	1・2・3		1		1	1				兼1
	海外文化・生活・コミュニケーション	1・2・3		1		1	1				兼1
	海外技術経営論	1・2・3前		1		1	1				兼1
	海外企業インターンシップ	1・2・3前		1		1	1				兼1
	創造システムデザイン	1・2・3前		2		1					
	大学院海外短期インターンシップA	1・2・3		1		3	6	1			グローバル人材育成推進事業採択のため科目を新設(25)
大学院海外短期インターンシップB	1・2・3		1		3	6	1			グローバル人材育成推進事業採択のため科目を新設(25)	
大学院海外短期インターンシップC	1・2・3		2		3	6	1			グローバル人材育成推進事業採択のため科目を新設(25)	
討論形式科目	専門技術と社会Ⅰ	1・2通		1		59 63 66 67	58 57 60 64	2	1		退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任、採用による教員の変更(27)
	専門技術と社会Ⅱ	1・2通		1		59 63 66 67	58 57 60 64	2	1		退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任、採用による教員の変更(27)
	専門技術と社会Ⅲ	1・2通		1		59 63 66 67	58 57 60 64	2	1		退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任による教員の変更(27)
専門科目	数理物理学特論	1前		2		2	1				
	量子物理学特論	1後		2		3-4	2				退職による教員の減(26)
	電磁物理学特論	1前		2		5	1				兼5
	凝縮系物理学特論	1後		2		2-3	3-4	1			退職による教員の減(26) 採用による教員の追加(27)
	無機ファイン材料特論	1・2前		2		2-3	2				兼1
	有機分子設計特論	1・2後		2		1	3				兼1
	機能性高分子工学特論	1前		2		2	2-4				教育体制充実のため教員を追加(25)
	高分子材料設計特論	1・2・3前		2		2-4	3				教育体制充実のため教員を追加(25)
	機能高分子化学特論	1・2・3後		2		2	1				
	生命応用工学特論	1・2・3後		2		1	1				
分子生物化学特論	1・2・3後		2		1	2					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	材料物性工学特論	1・2・3後		2		1-2	0-1					退職及び転籍による教員の減、後任補充予定(27)
	構造材料工学特論	1・2・3前		2		2-3						退職による教員の減、後任補充予定(27)
	最適設計工学特論	1・2・3後		2		1	1 2					転任による教員の変更(27)
	生産加工工学特論	1・2・3前		2		1 2						転籍による教員の減、後任補充予定(27)
	計算機構成・ソフトウェア科学工学特論I	1・2前		2		2 3	2					退職による教員の減、後任補充予定(27)
	計算機構成・ソフトウェア科学工学特論II	1・2後		2		1 2	2					退職による教員の減、後任補充予定(27)
	認知情報・ヒューマンインタフェース特論I	1・2前		2		2 3	4					死亡による教員の減、後任補充予定(27)
	認知情報・ヒューマンインタフェース特論II	1・2後		2		1 2	5					退職による教員の減、後任補充予定(27)
	光・電子デバイス特論	1・2・3前		2		2 3	2 4				兼1	教育体制充実のため教員を追加(26) 退職による教員の減、後任補充予定(27)
	電力制御特論	1・2・3後		2		2						
	電子システム工学特論	1・2・3前		2		2 4	3 4					昇任による教員の変更(26)
	通信システム特論	1・2・3後		2		2	2					
	機械ダイナミクス特論	1・2・3前		2		1	1					
	流体システム特論	1・2・3後		2		1	2 4					昇任による教員の変更(26)
	熱システム特論	1・2・3前		2		1	0 4					昇任、退職による教員の変更、後任補充予定(25)
	システム制御特論	1・2・3後		2		1	2					
	ロボット制御特論	1・2・3前		2		2 4 2	2					転任による教員の変更、後任補充予定(25) 採用による教員の追加(27)
	建築構造システム論	1・2・3後		2		2	1					
	住基盤防災特論	1・2・3前		2		2	1					
	建築都市快適論	1・2・3前		2		1	1					
	環境形成論特論	1・2・3後		2		2	1					
	生活空間計画特論	1・2・3後		2		2	1 0					教育体制充実のため教員を追加(26)
	テキスタイル工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	バイオミメティック工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	繊維機能科学特論	1・2・3後		2		1	1					
	繊維・高分子材料工学特論	1・2・3前		2		1	0 4					退職、昇任による教員の変更(26)
	繊維・高分子加工工学特論	1・2・3前		2		1			1			
	エネルギー安全工学特論 I	1前		2		2	2		1			
エネルギー安全工学特論 II	1後		2		3 2	2 3					昇任による教員の変更、後任補充予定(25)	
原子力工学特論 I	1前		2							兼3		
原子力工学特論 II	1後		2							兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
研究ゼミナール	主専門研究ゼミナールⅠ	1～3通	2			59	63	66	67	58	67	60	64	2	1	退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任、採用による教員の変更(27)
	主専門研究ゼミナールⅡ	1～3通	2			59	63	66	67	58	67	60	64	2	1	退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任、採用による教員の変更(27)
	副専門研究ゼミナール	1～3通	1			59	63	66	67	58	67	60	64	2	1	退職、転任による教員の変更、後任補充予定(25) 退職、昇任、採用による教員の変更(26) 退職、転任、採用による教員の変更(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 61	科目	科目 64	科目 3	科目 64	科目	科目 67	
				[]	[3]	[]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 ※事前伺いにつき、記載致しません。

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室	室		
				(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育地域科学部									
学校教育課程	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.06	平成11年度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	
地域科学課程	4	60	—	240	学士 (地域科学)	1.03	平成20年度		
医学部									
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	0.99	昭和55年度	福井県吉田郡永平 寺町松岡下合月2 3号3番地	平成27年度から編 入学生募集停止
看護学科	4	60	—	250	学士 (看護学)	0.95	平成9年度		
工学部									
機械工学科	4	75	3年次 9	314	学士 (工学)	1.07	平成11年度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	平成27年度から編 入学定員変更(5→ 9) 平成27年度から編 入学定員変更(5→ 9)
電気・電子工学科	4	64	9	270	〃	1.11	〃		
情報・メディア工学科	4	65	10	280	〃	1.00	〃		
建築建設工学科	4	65	10	280	〃	1.01	〃		
材料開発工学科	4	75	—	300	〃	1.07	〃		
生物応用化学科	4	65	—	260	〃	1.06	〃		
物理工学科	4	51	—	204	〃	1.12	〃		
知能システム工学科	4	65	2	262	〃	1.07	〃		平成27年度から編 入学定員変更(0→ 2)
大学院教育学研究科 (修士課程)									
学校教育専攻	2	12	—	24	修士 (教育学)	0.33	平成20年度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	
教科教育専攻	2	25	—	50	〃	1.06	〃		
(教職大学院の課程)									
教職開発専攻	2	30	—	60	教職修士 (専門職)	1.01	平成20年度		

大学院医学系研究科 (修士課程)									
看護学専攻	2	12	-	24	修士 (看護学)	1.08	平成13年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
(博士課程)									
統合先進医学専攻	4	25	-	75	博士 (医学)	0.92	平成25年度		
医科学専攻	4	-	-	-	〃	-	平成20年度		平成25年度から学生募集停止
先端応用医学専攻	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
生化系専攻	4	-	-	-	〃	-	昭和61年度	平成20年度から学生募集停止	
大学院工学研究科 (博士前期課程)									
機械工学専攻	2	32	-	64	修士 (工学)	1.26	平成15年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成25年度から入学定員変更(25→32)
電気・電子工学専攻	2	30	-	60	〃	1.26	〃		平成25年度から入学定員変更(20→30)
情報・システム工学専攻	2	31	-	62	〃	1.28	〃		平成25年度から入学定員変更(23→31)
建築建設工学専攻	2	28	-	56	〃	0.94	〃		平成25年度から入学定員変更(22→28)
材料開発工学専攻	2	24	-	48	〃	1.14	〃		
生物応用化学専攻	2	21	-	42	〃	0.99	〃		
物理工学専攻	2	18	-	36	〃	1.00	〃		平成25年度から入学定員変更(14→18)
知能システム工学専攻	2	27	-	54	〃	0.92	〃		
繊維先端工学専攻	2	15	-	30	〃	1.06	平成25年度		
フロンティア工学専攻	2	-	-	-	〃	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
原子力・エネルギー安全工学専攻	2	27	-	54	〃	1.05	平成16年度		
(博士後期課程)									
総合創成工学専攻	3	22	-	66	博士 (工学)	1.30	平成25年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	
物質工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成5年度		平成25年度から学生募集停止
システム設計工学専攻	3	-	-	-	〃	-	〃		〃
フロンティア工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成14年度		〃
原子力・エネルギー安全工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成16年度		〃

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等 ※事前伺いにつき、記載致しません。

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※事前伺いにつき、記載致しません。

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む） ※事前伺いにつき、記載致しません。

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※事前伺いにつき、記載致しません。

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 27年 7月 1日)